

事務事業番号 10501350007

事務事業名	学校園施設維持補修事業		
事業開始年度	0	担当部署	公共施設部 施設整備室

根拠法令	決裁												
実施方法	☐ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)												
	☒ その他(一部委託 : 施設の維持補修・施設の整備に係る調査・設計・工事及び定期点検)												
目 的 (何のために)	枚方市立小中学校、幼稚園の維持保全及び教育内容に応じた施設の整備等により、良好な教育環境の確保及び改善を図るとともに、地域住民も身近に利用できる施設づくりを行う。												
対 象 (誰・何を対象に)	小学校45校、中学校19校、幼稚園11園												
事業内容	①施設の維持補修 …施設の維持補修にかかる調査・設計・工事の発注及び監理 ア) 市有建築物保全計画に基づくもの イ) 保全計画対象外のもの(例: 学校園長からの改修要望、プール、フェンスなど) ②学習環境の改善等に伴う施設の整備 …施設整備にかかる調査・設計・工事の発注及び監理 (例: 平成24～25年度枚方小学校校舎の増築) ③施設の修繕 …早急な対応が必要な改修 ④その他 …建築物定期点検・消防設備点検・プール設備点検等の委託発注及び管理												
類似事業													
事業の必要性	良好な教育環境の確保、教育内容に応じた施設の改善を図るため必要												
コ ス ト													
		H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
	正職員	13.80	人	111,642	千円	14.00	人	112,000	千円	14.00	人	112,000	千円
	再任用職員	1.00	人	3,450	千円	1.00	人	3,471	千円	1.00	人	3,471	千円
	非常勤職員等	2.00	人	4,828	千円	1.00	人	2,425	千円	0.00	人		千円
人件費計(A)				119,920	千円			117,896	千円			115,471	千円
直接経費(B)				481,515	千円			466,388	千円			621,571	千円
総事業費(A+B)				601,435	千円			584,284	千円			737,042	千円
財源内訳													
		H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
国庫支出金					千円			34,163	千円			176,261	千円
府支出金					千円				千円				千円
受益者負担 (使用料等)					千円				千円				千円
その他					千円				千円				千円
一般財源				601,435	千円			550,121	千円			560,781	千円
		内 容										金 額	
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)		施設維持補修費 (工事316,508千円、修繕55,060千円)										371,568 千円	
		各種委託費 (設計委託19,840千円、その他点検等委託68,007千円)										87,847 千円	
		枚方小学校校舎増築事業経費(設計委託等)										6,973 千円	

事業概要説明シート

事務事業番号

事務事業名	学校園施設維持補修事業				
事業開始年度	0		担当部署	公共施設部 施設整備室	
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① 施設維持補修対象校園数	件	75	75	75
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/施設維持補修対象校園数	円	8,019,133	7,790,453	9,827,226
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	小中学校及び幼稚園の施設改善を図る。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	同様の事業は全国の自治体で実施されており、とりわけ大阪府内の自治体では同事業のより効率、効果的な実施手法を検討するため、大阪府内の営繕担当者で構成する「大阪府市町村営繕主務者会議」において、先進的な取り組み事例などの情報共有を図るとともに意見交換を定期的に行い、本市においても同業務の改善に役立てている。				
特記事項	本市では、他の自治体に先駆けて、平成23年4月に「市有建築物保全計画」を策定し、財政負担の平準化を図りながら計画的な維持保全に取り組んでいる。また、本計画の対象外となる、学校園長からの緊急要望、プール・フェンスなどの維持補修業務、修繕業務や学習環境の改善を図るための施設の整備、その他建築物定期点検・消防設備点検・プール設備点検等を実施している。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	緊急性や安全性を最優先とした学習環境整備に努める。 市有建築物の保全計画に基づく予防保全を進める。			
一次評価結果 (平成24年度)	・効率性、さらには公平性の強く求められる事業として、計画的な事業の実施がなされているのか。 ・効率的な維持補修を進めるための方策を検討すべきでは。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	引き続き緊急性や安全性を最優先とした学習環境の整備に努めるとともに、「市有建築物保全計画」に基づき計画的に改修を進める。また、同計画を円滑に実施するため、他市の先進事例を参考に整備した計画保全システム※の活用をはじめ、今後増加が見込まれる維持補修工事に対応するため、工事設計業務の外部委託化を拡大することにより、効率的に業務を進めていく。 ※) 計画保全システム・・・建物関連情報データベースを基本とした、台帳のペーパーレス化、維持補修工事に係る設計業務等の効率化を図るシステム。			